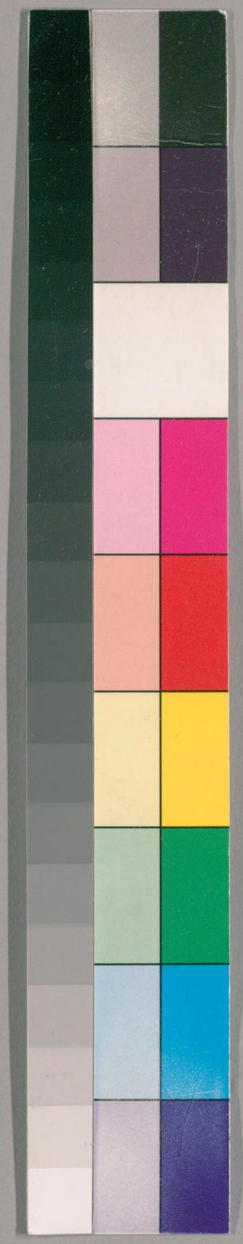


国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』 請求記号 857-47
ガラス使用

萬葉集巻第二十

長六首 短二百十八首 合二百二拾四首

幸二行於山村一之時先太上天皇詔二陪從王一賦二
和歌一之時　天皇御口號一首

舍人親王應レ詔奉レ和歌一首

○天平勝寶五年八月十二日二三大夫等各
提二壺酒一登二高圓野一聊述二所心一作歌三首

○同六年正月四日氏族人等賀二集于少納言
大伴家持宅一宴飲歌三首

857-47
帝國圖書館

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

天平九年九月己亥无位安宿王授從五位下○勝宝五年播磨守六年九月兼内近弘宝亀四年十月癸卯朔戊申安宿王賜姓高階眞人

同七日天皇太上天皇皇太后在東常宮
南大殿時播磨國守安宿王奏歌一首
同三月十九日家持之庄門槻樹下宴歌二
首
已下三行廿八字中院本无之以無為是
置始連長谷歌一首
長谷攀花提壺到來因是大伴家持和長谷
歌一首
同二十五日左大臣橘卿宴于山田御母之

宅時少納言大伴家持矚時花作歌一首
同四月大伴家持詠霍公鳥歌一首
大伴宿祢家持作
七夕歌八首
同月二十八日大伴家持作歌一首
兵部少輔
大伴宿禰家持憶秋野聊述拙懐作歌六首
天平勝宝
同七歳乙未二月相替遣筑紫諸國防人等歌
七首
言七首者人止進遠江防人歌數也上只是防人歌惣標也混惣別甚非矣當删去
同六日防人部領使遠江國史生坂本朝臣

人上進歌五首 七官仲

二月官

司七司相莫國方人サキモリノコトリツカヒ部領使守従五位下布勢朝臣人主進歌十首

藤原宿奈麻呂○天平十八年四月正六位下藤原宿奈麻呂授従五位下同六月越前守同九月庚戌朝癸亥為上総守宝字元年五月従五位上六月民部少輔三年十一月右中弁五年正月上野守七年正月造宮大輔上野守如故八年九月従四位下十月太宰帥神護二年十一月正四位上勲従三位景雲二年十月兵部卿従三位藤原朝臣宿奈麻呂為兼造東大寺長官宝亀元年七月癸酉薨八月太宰帥九月式部卿追贈太政大臣○続日本後紀延暦十六年夏四月己未云是日大納言正三位紀朝臣古佐美薨古佐美者大納言麻呂之孫正六位宿奈麻呂之子也仲云有同氏両宿奈麻呂乎

同八日兵部少輔大伴家持追痛防人悲別之心作歌一首 并短歌

同九日大伴家持作歌三首 宿祢仲

同七日駿河國防人部領使守従五位下布勢朝臣人主進歌十首 サキモリノコトリツカヒ 姓氏錄左京皇別 後也

同九日上總國防人部領使少目従七位下 サウクワン

茨田連沙彌麿進歌十三首 マムタノムラジ

同十三日兵部少輔大伴家持陳私拙懐歌 ニ ル ヲ

一首 并短歌

同十四日常陸國防人部領使大目正七位 姓氏錄

上息長眞人國島進歌十首 オキナガノマヒトクニシマ 仲

同日下野國防人部領使正六位上田口朝 宝字四年正月正六位上田口朝臣大戸授従五位下

臣大戸進歌十一首

宝字六年正月正六位上息長丹生真人國嶋授従五位下

文武天皇二年八月戊子朔茨田足嶋賜連姓

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

人上進歌五首 七官仲

同七日相模國防人部領使守從五位下藤
二月官
原朝臣宿奈麿進歌一首 三仲

同八日兵部少輔大伴家持追痛防人悲別之心作歌一首 并短歌

同九日大伴宿祢家持作歌三首

同七日駿河國防人部領使守從五位下布
勢朝臣人主進歌十首 姓氏錄左京皇別 布勢朝臣同祖日本紀漏阿倍朝臣大麻呂之後也

同九日上總國防人部領使少目從七位下
茨田連沙彌麿進歌十三首

同十三日兵部少輔大伴家持陳私拙懷歌
一首并短歌

同十四日常陸國防人部領使大目正七位
上息長眞人國島進歌十一首

同日下野國防人部領使正六位上田口朝
臣大戸進歌十一首

文武天皇二年八月戊子朝臣田足鳴賜連姓

宝字六年正月正六位上息長丹生真人國嶋授從五位下

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

同十六日下總國防人部領使少目從七位
下縣犬養宿禰淨人進歌十一首
同十七日兵部少輔大伴家持作歌三首
同十九日兵部少輔大伴家持爲防人情陳
思作歌一首幷短歌
同二十二日信濃國防人部領使上道得病
不來進歌四首
同二十三日上野國防人部領使大目正六

位上毛野君駿河進歌四首
陳防人悲別之情歌一首幷短歌
同二十三日兵部少輔大伴家持三首
上丁那珂郡檜前舍人石前之妻大伴部眞
足女一首
助丁秩父郡大伴少歲一首
主帳荏原郡物部歲德一首
妻椋椅部刀自賣一首

豊島郡上丁椋椅部荒虫之妻宇遅郡部黒女
一首
荏原郡上丁物部廣足一首
橘樹郡上丁物部真根一首
妻椋椅部弟女一首
都筑郡上丁服部於田一首
妻服部呰女一首
埼玉郡上丁藤原部等母麿一首

妻物部刀自賣一首
二月二十日武藏國部領防人使揔正六位上安曇宿禰三國進歌數二十首 并短歌
三月三日檢校防人勅使并兵部使人等同集飲宴作歌三首
昔年相替防人歌一首
先太上天皇御製霍公鳥歌一首
陞妙觀應詔奉和歌一首

冬日幸于靭負御井之時内命婦石川朝臣應詔賦雪歌一首

上總國朝集使大掾大原眞人今城向京之時郡司妻女等餞之歌二首

五月九日兵部少輔大伴宿禰家持之宅集飲歌四首

同月十一日左大臣橘卿宴右大辨丹比國人眞人之宅歌三首

十八日左大臣宴於兵部卿橘奈良麿朝臣宅歌一首

八月十三日在内南安殿肆宴歌二首

十一月二十八日左大臣集於兵部卿橘奈良麿朝臣宅宴歌一首

天平元年班田之時使葛城王從山背國贈陸奥薩弖麿妙觀命婦等所哥一首

陸奥薩弖麿妙觀命婦報贈歌一首

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

天平勝寶八歳丙申二月朔乙酉二十四日戊申太上天皇太后幸行於河内離宮經信以壬子傳幸於難波宮也三月七日於河内國伎人郷馬國人之家宴歌三首

二十日大伴宿禰家持依興作歌五首

喩族歌一首并短歌

大伴宿禰家持臥病悲無常欲修道作歌二首

同家持願壽作歌一首

冬十一月五日少雪夜兵部少輔大伴宿禰家持作歌一首

八日讃岐守安宿王等集於出雲掾安宿奈杼麿之家宴歌二首

兵部少輔大伴宿禰家持後日追和出雲守山背王作歌一首

二十三日集於式部少丞大伴宿禰池主之

宅飲宴歌三首

智努女王卒後圓方女王悲傷作歌一首
（寶龜五年十二月丁亥薨平城朝左大臣長屋王之女也
寶龜七年正月從四位下神龜二月從三位）

大原櫻井真人行佐保川邊之時作歌一首
（統日本紀）

藤原夫人歌一首
（天武天皇紀上曰又夫人藤原大臣女）

作者未詳歌一首

三月四日於兵部大丞大原真人今城之宅
（下勝寶九歲當在此）

宴歌一首

播磨介藤原朝臣執弓赴任悲別歌一首

勝寶九歲六月二十三日於大監物三形王之宅宴歌一首

大伴宿禰家持悲怜物色変化作歌一首

天平寶字元年十一月十八日於内裏肆宴二首
（孝謙九年）

十二月十八日於大監物三形王之宅宴歌三首

年月未詳歌一首
（當標類云藤原宿奈麻呂之妻石川女郎贈別悲恨作歌一首）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

二十三日於治部少輔大原今城真人之宅宴歌一首（時大伴宿祢家持作）

二年春正月三日王臣等應詔各陳心緒歌二首

六日内庭假植樹木以林惟而爲肆宴歌一首（作宦仲帷仲）

二月於式部大輔中臣清麿朝臣之宅宴歌十首（大伴宿祢家持作歌一首　又次ノ手當月云爲七日侍宴右中辨大伴宿祢家持預作歌一首　トアルベシ）

同宴中依興各思高圓離宮處作歌五首

同宴中屬目山齋作歌三首

二月十日於内相宅餞渤海大使小野田守朝臣等宴歌一首

七月五日於治部少輔大原今城真人宅餞因幡守大伴宿禰家持宴歌一首

三年春正月一日於因幡國廳賜饗國郡司等之宴歌一首（時守大伴宿祢家持）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

右ナラシ外匣本有異

此巻ハ家持越前ヨリノホリテ都ニテ所聞ノ日記セリトミヘタリ

幸行於山村之時歌二首（イテマス　添上郡ニ欽明紀云天皇元年百濟人已知部投化置倭國添上郡山村今已知部之名也）

先太上天皇詔陪從王臣曰夫諸王卿等宜（元正天皇ノ考ノ後註ヲミ合ヘシ）

賦和歌而奏即御口號曰（ツクリテ　雄畧紀ニ天皇ノ御口號ト）

安之比奇能山行之可婆山人乃和禮爾依志（アシビキノ　ヤマユキシカバ　ヤマビトノワレニエ　今得ル）

米之夜麻都刀曽許禮（花江葉萩ナドノ數ヘ　天武紀ニアトナレコソ同ヒアヤマリ此歌カ）

舍人親王應詔奉和歌一首（ニ　ル　シ）

安之比奇能山尓雲居多奈妣久（アシビキノ　ヤマニクモヰタナビク　天ヤ雲ニ此アリテ分明）

安之比奇能山由伎家牟夜麻妣等能情毋（ユキケム　ヤマビトノ　山人成ミテシカナ花ニアヤト）

之良受也山人乃多禮（シラズヤ　ヤマビトヤタレ）

之良受也山人夜多禮（鎌倉右大臣本有異）

此寺何ニヨリテヨミシヲシラレヌ事ヲ知ルカサフラフ孫子ノヒヘシ

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

當下一字
右天平勝寶五年五月在於大納言藤原朝臣之家時依奏事而請問之間少主鈴山田史土麿語少納言大伴宿禰家持曰昔聞此歌即誦此歌也

天平勝寶五年
八月十二日二三大夫等各提壺酒登高圓野聊述所心作哥三首

多可麻刀能乎婆奈布伎故酒秋風爾比毛等伎安氣奈多太奈良受等母

徒ラニアラズベク友ニモ安ラズ是ハ時ガトクニアズトモ

右一首左中弁中臣清麿朝臣

安麻久母爾可里曽奈久流多加麻刀能波疑乃之多婆波毛美知安倍牟可聞

右一首少納言大伴宿禰家持

乎美奈弊之安伎波疑之努藝左乎之可能都由和奈加牟多加麻刀能野曽

右一首少納言大伴宿禰家持

六年正月四日民族人等賀集于少納言大

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

鎌倉右大臣
物部ノ矢ナミツクロフ小手ノ上ニアラレタハシルナスノシノ原

伴宿禰家持之宅宴飲歌三首

霜上爾安良禮多婆之里伊夜麻之爾安禮波

麻爲許牟年緒奈我久　古今未詳

右一首左兵衛督大伴宿禰千里

年月波安多良安多良爾安比美禮騰安我毛

布伎美波安伎太良奴可母　古今未詳

右一首民部少丞大伴宿禰村上

可須美多都春初乎家布能其等見牟登於毛

倍波多努之等曾毛布

右一首左京少進大伴宿禰池主

孝謙紀六年春正月丁酉朔癸卯御東院宴五位以上

七日天皇太上天皇皇太后於東常宮南大

殿肆宴歌一首

伊奈美野乃安可良我之波波等伎波安禮騰

伎美乎安我毛布登伎波佐禰奈之

右一首播磨國守安宿王奏　古今未詳

三月十九日家持之庄門槻樹下宴飲歌二

夫木廿九　天慶二年二月
貫之家哥合仲冬
白雪ノフリツモリヌルオノヽハアカラ柏モ埋レニケリヨミ人シラズ

首
夜麻夫伎波奈埿都都於保佐牟安里都都母
伎美伎麻之都都可敝之多里家利
右一首置始連長谷
和我勢故我夜度乃也麻夫伎佐吉弖安良婆
也麻受可欲波牟伊夜登之能波爾
右一首長谷攀花提壷到來因是大伴宿
禰家持作此歌和之

同月二十五日左大臣橘卿宴于山田御母
之宅歌一首
夜麻夫伎乃花能左香利爾可久乃其等伎美
乎見麻久波知登世爾母我
右一首少納言大伴宿禰家持矚時花作
但未出之間大臣罷宴而不擧誦耳
詠霍公鳥歌一首
許乃久禮能之氣伎乎乃倍乎保等登藝須奈

キテコユ(ケヌ)リ・イ(ヘ)ニ(助)ク(来)ラシモ
伎豆故由奈里伊麻之久良之母

右一首四月大伴宿禰家持作

七夕歌八首

ハツアキカゼスバシキユフ(ベ)トカムトゾヒモ
波都秋風須受之伎由布敝等香武等曽比毛
ハムスビシイモニアハムタメ
波牟須妣之伊母爾安波牟多米

アキトイヘバコ(皇極紀)ロヅイタキウタテノ(異)ニ(縁女ラ)ケリ
秋等伊弊婆許巳呂曽伊多伎宇(轉)多豆家爾花
ニ(進ヅ)ウヘテミニクホリカモ
爾奈蘇倍豆見麻久保里香聞
ハナトヒ(乙助)アヒナカミニ
波都乎婆奈波奈加美爾

ナリニケリモトシノヨナガク
奈里爾家良之年緒奈我久
オナセオナ(ナカシ)サノニコ(ヲ返)
秋風爾奈妣久可波備能爾故具左能爾古餘
ノニモヒモホユル(今ノ勘ニ)カモ
可爾之母於毛保由流香母
アキサレバキリタチワタル(今ノ勘ヘ)アヘノガハ(石)
安吉佐禮婆吉里多知和多流安麻能河波伊
ニ無ニ四無ダミオカバツギテ(外ヨリ思ヒヤリテヨメルヤウニ)ムカモ
之奈弥於可婆都藝豆見牟可母

アキカゼニイヘカイヘトヒモトキテ(外待ヘ)ラヘ(心)
秋風爾伊麻香伊麻可等比母等伎豆宇良麻
チヨルニツキカタフキ(ヌ)
知乎流爾月可多夫伎奴
アキクサニオクシラツユノミアヒミ
秋草爾於久之良都由能未安比見

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

流毛乃乎月乎之麻多牟
安乎奈美爾蘇旦佐閇奴禮旦許具布禰乃可
之布流保刀爾左欲布氣奈武可

右大伴宿禰家持獨仰天漢作之

八千種爾久佐奇乎宇惠旦等伎其等爾左加
牟波奈乎之見都追思努波奈

右一首同月二十八日大伴宿禰家持作之

官人乃蘇泥都氣其呂母安伎波疑爾仁保比
與呂之伎多加麻刀能美夜
多可麻刀能宮乃須蘇未乃努都可佐爾伊麻
左家流良武乎美奈弊之波母
秋野爾波伊麻己曾由可米母能乃布能乎等
古乎美奈能波奈爾保比見爾
安伎能野爾都由於弊流波疑乎多乎良受旦
安多良佐可里乎須其之旦牟登香
多可麻刀乃宇倍能安佐疑里爾都麻

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』 請求記号 857-47
ガラス使用

唐天宝三年改年曰載乾元元年復称年乃雅云白虎通云所以名篇敢何試考遂也正月辛酉朔甲子勅為百所宜改年為載

ヨラシカイデタツラム
欲夫乎之可伊泥多都良武可
ヘスラヲノ（鹿笛ニ展ヲヨブヲ云）
麻須良男乃欲奴多天思加婆左乎之加能牟
ナワナユカムアキノハギハラ（ノヲヲハ カルヤ）
奈和氣由可牟安伎野波疑波良

右歌六首兵部少輔大伴宿禰家持獨憶
秋野聊（ヲカ）述（テ）拙懷（ラル）作（ル）之（ヲ）

天平勝寶七歳乙未二月相替遣（ス）筑紫諸國（ニ）
防人等（カ）歌（是等家持ノ云ハレ給ヘル證拠ヘ）

日本紀廿七天智天皇三年春二月遣筑紫大宰帥馬壱岐嶋築紫国等令繕修防人等可考之

カレコキヤミコトカ蒙（バ）
可之古伎夜美許等加我布理阿須由利也加（フリアスユリヤカ）

オロヌノクスマニヤ、フリテトヨメリ

丁令義解戸令云ノ丁男三歳以下為黄十六以下為中其男廿一為正丁六十一為老六十六為耆白虎通曰丁壮也宝字元年詔曰自今以後宜以廿八為中男廿二以上成正丁

万葉仮字モトヨミ花ハサケ花ナドヨムモヨロシイモガサキテコソアラム

エガイムタチヲイ（妹モト通）
曳我伊牟多禰乎伊（妹モト通）牟奈之尓テ
（イモチチイモナハアレド）
防人（サキモリ）等（カ）歌

ワガツマハイタクコヒラシ（ノミヤコノヨホロニ）
和我都麻波伊多久古比良之（妹ナニシメヲ「行ニヘシ」ヲ云ステメル）
（心思ハム水ニ妹カ影サヤト又妹カナヲヲ思ハ影サヤニヤ）

右一首國造（ノ）長下（カミモ）郡物部秋持（モノベ）

ゴサヘミエテヨニワスラレズ（テクノ帳ノヨホロ）
其佐倍美曳（ニテ）弖余爾和須良（ヨミ通坂ノ関ハナシ元明紀ニ出）
禮受

右一首主帳丁（アラタノ）刀（ヤ）良（ノ）玉郡若倭部身麿（ミマロ）

トキドキノハナハサケドモナニカハバカレソハ（何トスルニハバカレソ）
等伎伎能波奈波佐家登母奈尓可波婆加礼曾波（ハトハ来ケム）
伎騰吉乃波奈波佐家波佐家登母奈尓可波婆加礼曾波（ハナノサキ泥行）
波登布波奈乃佐吉低已受祁牟（コネズ来ケム）

右一首防人山名郡丈部眞麿（ハセベノ）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

和名抄遠江濱名郡
敷智付
延喜式廿六主税式
白羽窟牧馬直四千
四百六十束遠江信
詔云敷地郡有白羽
駅南方紀傳和一束
朝延元三九月十一
日東国下向ノ船七
伊豆ノ三崎ニ於テ難
風ニアヒ漂没ノ今寺
良覩王ノ御子品郷
船ハ遠江国白羽ノ
湊ニ着ス

部領 推古紀十九年

遠江

夕ホミル ハノイソ窓ト ニヘノウラト
等倍多保美志留波乃伊宗等爾閉乃宇良等
アヒテミ助アラバコト モカユヨト通ハム 残レオク我妻ト違ネ久ト言モカヨハン
安比豆之阿良婆巳等母加由波牟 将通

右一首同郡丈部川相

チ ハ モハナニモ ガモヤクサニクラタ
知知波々母波奈奈爾母我毛夜久佐麻久良多
ビハユクトモサ棒ゴケト過テユカム サ、ルハサレアルレシアノ又サレバナリ
妣波由久等母佐巳豆由加牟

右一首佐野郡丈部黒當 遠江 住処ノ名ヒシ

チ ハ ガトモノヘヨグサモ百 蔀
父母我等能能志利弊乃母母余具佐母母與
百代イフモ助ニセワガ帰リ参ルマデ
伊豆麻勢和我伎多流麻豆

右一首同郡生玉部足國 イトマモガナ

ワガツマモユニカ書キ イツトモカタ
和我都麻母畫爾可伎 イツトモカタ
ビユクアレハミツハシノバム
比由久阿禮波義都志努波牟

右一首長下郡物部古麿 遠江モノ

二月六日防人部領使遠江國史生坂本朝
臣人上進歌數十八首但有拙劣歌十一首

サキモリノユトリツカヒ カヒ

不取載之

キホミノミコトカシコミイソニフリ 磯ニ觸テ不分明 振ウ 濱邊
於保吉美能美許等可之古美伊蘇爾布理宇

乃波良和多流知知波波乎於伎豆
（ノ通）（バラワタル・チ・ハ・ヲオキテ）

右一首助丁丈部造人麿
（コノ郡名ヲ脱スルナリ）（スケノヨボロ）（ツクリベノミヤツコ）

夜蘇久爾波那爾波爾波爾都麿度比布奈可射里安
（ヤソ国）（ニハナニハニツ集）（ドヒフ船）

我世武比呂乎美毛比等母我母
（ガセムヒロ助ヲミ）（ミム人モカナヘモ通ヒ）

右一首足下郡上丁丹比部國人
（相模）（クニノト）

奈爾波都爾余曾比余曾比豆氣布能日夜伊
（ナニハヅニヨソヒヨソヒテツケフノ比ノ字本ヤ）（出テマカラレヘ）

田豆麻可良武美流波波奈之爾
（デ心テ）（罷カ）（母）（ナシニ）

右一首鎌倉郡上丁丸子連多麿
（下ノ長サリテミ）（ハソノミテトヨムヘシ）（相模）（アマコノオホ）（マロ）

二月七日相模國防人部領使守從五位下
（下五十七）（スクナ）

藤原朝臣宿奈麿進歌數八首但拙劣歌五
（スクナ）

首者不取載之
（ニ）（リ）（セ）（ニ）

追痛防人悲別之心作歌一首并短哥
（テ）（テ）（ムノラ）（ヲ）（ル）

天皇乃等保能朝廷等之良奴日毛
（スメロギノトホノミカドトキコレメス）（ヲモノクニハ歌）

多麻毛流於佐倍乃城曾等聞食四方國爾波
（タマ戊モル）（キサ押）（ヘノキ今ソ）（トサハニミチテハアレドトリガナクアレ）

比等佐波爾美知豆氣安禮杼登利我奈久安
（ヒト多）（ツヒニヲノコハイデム山）（カヒヘリミセズテ向カ）

豆麻乎能故波伊田牟可比加弊里見世受豆
（ツマ）（ヲ）（ヘ）（ヘ）（ヘ）（ヘ）

相模國足柄上下トアリ柄ノ字脱セリ但大和城上郡ハ磯城上郡ニ在リ二与ミヨリテ城上トメ高磯ノ字ヲヨミワケル例ニテアルガラノニモトノ二字ニテヨム歟和名抄本ニ柄ノ字無

不知火ノ心ニテ白縫トキヨスル様ニヨムベシミノホレラミカラレヨム歟

天智紀ニ又於筑紫築大堤貯水名曰水城トアリ

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

イサミタケル　タチナキイクサ
伊佐美多流　多家吉軍卒等禰凝多麻比麻氣
ノニニニタラチコノハ　母　ガメ　カレテワカ
乃麻爾麻爾多良知禰乃波波我目可　離　禮禮遣弖若
クサノツヽヲモヽカズアラタヽノツキヒ　月日ラカサスルニヽ　ヨ
草能都麻乎母麻可受安良多麻能月日餘美
ツヽアニガチルナニハノミツニヽオホブコニヽカ
都都安之我知流難波能美津爾大舩爾末加
イニベヌキアサナギニ
伊之自奴伎安佐柰藝爾可　水　故等登能倍由布
ニホニカギヒキヌリアイテモヒテコギユク　イサトモカウ
思保爾可知比伎乎里安騰母比弖許藝由久
（キ家持ノ妻ヲカリテ作ヘリ）　ハヽ　ヨ　ナ　ミノヽ　ユキサグヽミヽ　艱　幸キ
伎美波柰美乃間乎伊由伎佐具久美麻佐吉
クモハヤクイタリテオホキミノミコトノヽニ
久母波夜久伊多里弖大王乃美許等能麻爾

左ガ允雄ノ死詞
古事記曰尓良倉宮時
戯射出之矢如雷来
敬ヘ

誘フモ日本紀

三之日廿八卯子クハ
暦也

ヽヽスラヲノコヽヽロシ　ジモチテアリグリ
未麻須良男乃許呂母知弖安里米具里
コトヒ助ヲハラバツヽカヘリキヽセト　下世七
事之乎波良波都麻波受可敷理伎麻勢登
イハヒ爾ベヲト来コベ辺ニス居ユヽヽ知ラ体タヘノソ
伊波比倍乎等許敷爾須恵弖之路多倍能蘇
デヲリカヘレヌバタヽノクロカミレキテ
田遠利加敷之奴婆多麻乃久路加美之伎弖
ナ長ガキケヲヽヽニチカモコヒムハヒレキツヽラハ　心　コ
奈我伎氣遠麻知可母癒牟波之伎都麻良波
ヽヽスラヲノユ敷ギトリオヒテイデ、イケバ
麻須良男能由伎等里於比弖伊田弖伊氣婆
ワカレヲヽ、ヒミナゲキケムツヽ　行
和可禮乎乎之美奈氣伎家牟都麻

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

等里我奈久安豆麻乎等故能都麻和可禮可
奈之久安里家牟等之能乎奈我美
右二月八日兵部少輔大伴宿禰家持
海原乎等保久和多里弖等之布等母兒良我
牟須敝流比毛等久奈由米
今替爾比佐伎母利我布奈弖須流宇奈波良
乃宇倍爾奈美那佐伎曾禰
佐吉母利能保里江巳藝弖流伊豆手夫禰可

治等流間奈久戀波思氣家牟
右九日大伴宿禰家持作之
美豆等利乃多知能巳蘇伎爾父母爾毛能波
須價爾弖巳麻叙久夜志伎
右一首上丁有度郡牛麿
多多美氣米牟良自加巳蘇乃波奈利蘇乃波
波乎波奈例弖由久我加奈之佐
右一首助丁生部道麿

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』 請求記号 857-47
ガラス使用

久爾米具留阿等利加麻氣利由伎米具利可
比利久麻弖爾巳波比弖麻多禰

右一首刑部虫麿

知知波々江巳波比弖麻多禰豆久志奈流美
豆久白玉等里弖久麻弖爾

右一首川原虫麿

多知波奈能美衣利乃佐刀爾父乎於伎弖道
乃長道波由伎加弖努加毛

右一首丈部足麿

麻氣波之良寶米弖豆久禮留等乃能其等巳
麻勢波波刀自於米加波利勢受

右一首坂田部首麿

和呂多比波多比等於米保等巳比爾志弖古
米知夜須良牟和可美可奈志母

右一首玉作部廣目

和須良牟砥努由伎夜麻由伎和例久禮等和

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』 請求記号 857-47
ガラス使用

我知知波波波和須例勢努加毛

右一首商長首麿

和伎米故等不多利和我見之宇知江須流須

流河乃禰良波苦不志久米阿流可

右一首春日部麿

知知波波我可之良加伎奈弖佐久安禮天伊

比之古度婆曽和須禮加禰津流

右一首文部稻麿

二月七日駿河國防人部領使守從五位下

布勢朝臣人主實進九日歌數二十首但拙

劣歌者不取載之

伊閑爾之弖古非都都安良受波奈我波氣流

多知爾奈里弖母伊波非弖之加母

右一首國造丁日下部使主三中之父歌

多良知禰乃波々乎和加例弖麻許等和例多

非乃加里保爾夜須久禰牟加母

報母之歌也

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』 請求記号 857-47

ガラス使用

右一首國造丁早部使主三中
（日下欠）
（モ百、ク隈ヘノミチハキ）
手母久麻能美知波紀爾志乎麻多佐良爾夜
（ソニヘスギテワカレ）（ユカム）
蘇志麻須義豆和加例加由可牟

右一首助丁刑部直三野
（モシ処ノ名乎ニ）（ナカノア神中ノ社ハ）
爾波奈加能阿須波乃可美爾古志波佐之阿
（ハイハヘムカヘリ）（クヘテデニ）
例波伊波波牟加倍理久麻侶爾

右一首帳丁若麻續部諸人
（主脱カ）（ワカラ）（ミヘ）
（タビゴロモヤ八着ツ）（特ニ動サヲテイ寝メレドモナ）
多比已呂母夜豆伎可佐禰豆伊努禮等母奈
（多ヨリ）（倍水ヲ本）

（笠ノ小嶋カケテト思ヒ合スベシ）

河圖帝通記曰爪者天地之使也仲曰指東爪乎

（神名帳越前国足羽郡足羽神社延ノ十年四月乙巳従五位下仁寿元年正月甲戌朔癸卯加従四位下）

（狼元二年割二總四郡置安房）

ホハタムムイモニ
保波太佐牟志伊母爾志阿良婆
（上總マウダノ）（リニオシ忠イ）
右一首望陀郡上丁玉作部國忍

（ミチノベノウウバソ別カハ通）（ラヘ）
美知乃倍乃宇萬良能宇禮爾波保麻米乃可
（キ妻女ヲ君ニヲ）（ハ通ヘ）（ヘノカユカム）
良麻流伎美乎波可禮加由加牟

右一首天羽郡上丁丈部鳥
（イヘ爪ヲ働リニシヨリ）（ゼハヒニヒニ）（フドワギモコガイ）
伊倍加是波比爾比爾布氣等和伎母古賀伊
（ヘゴトモチテクルヒヨ）（トモナシ）
倍其登母遅豆久流比等母奈之

右一首朝夷郡上丁丸子連大歳
（マリコノ）（ニヒ）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

多知許毛乃多知乃佐和伎爾阿比美弖之伊
母加已己呂波和須禮世奴可母

右一首長狹郡上丁丈部與呂麿

余曾爾能美美弖夜和多良毛奈爾波我多久
毛爲爾美由流志麻奈良奈久爾

右一首武射郡上丁丈部山代

和我波波能蘇弖母知奈弖弖和我可良爾奈
伎之許己呂乎和須良延努可毛

右一首山邊郡上丁物部手刀良

阿之可伎能久麻刀爾多知弖和藝毛古我蘇
弖毛志保々爾奈伎志曾母波由

右一首市原郡上丁刑部直千國

於保伎美乃美許等加志古美伊弖久禮婆和
努等里都伎弖伊比之古奈波毛

右一首種淮郡上丁物部龍

都久之閇爾敝牟加流布禰乃伊都之加毛都

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』 請求記号 857-47
ガラス使用

加敝麻都里弖久爾爾閇牟可毛

右一首長柄郡上丁若麻續部羊

二月九日上總國防人部領使少目從七位
下茨田連沙彌麿進歌數十九首但拙劣歌
者不取載之

陳私拙懐一首并短歌

天皇乃等保伎美與爾毛於之弖流難波乃久
爾爾阿米能之多之良志賣之伎等伊麻能乎
爾多要受伊比都都可氣麻久母安夜爾可之
古志可武奈我良和其大王乃宇知奈妣久春
初波夜知久佐爾波奈佐伎爾保比夜麻美禮
婆見能等母之久可波美禮婆見乃佐夜氣久
母能其等爾佐可由流等伎登賣之多麻比安
伎良米多麻比之伎麻世流難波宮者伎巳之
米須四方乃久爾欲里多弖麻都流美都奇能
船者保理江欲里美乎妣伎之都都安佐奈藝

爾可治比伎能保里由布之保爾佐乎佐之久
太理安治牟良能佐和伎々保比弖波麻爾伊
泥弖海原見禮婆之良奈美乃夜敝乎流我宇
倍爾安麻乎夫禰波良爾宇伎弖於保美氣
爾都加倍麻都流等乎知許知爾伊射里都利
家理曾伎太久毛於藝呂奈伎可毛己伎婆久
母由多氣伎可母許己見禮婆宇倍之神代由
波自米家良思母

櫻花伊麻佐可里奈里難波乃海於之弖流宮
爾伎許之賣須奈倍
海原乃由多氣伎見都々安之我知流奈爾波
爾等之波倍努倍久於毛保由
右二月十三日兵部少輔大伴宿禰家持
奈爾波都爾美布禰於呂須惠夜蘇加奴伎
麻波許伎奴等伊母爾都氣許曾
佐伎母理爾多多牟佐和伎爾伊敝能伊毛何

鳥音ノ故事ニヨリ

奈流敝（ナルベ）　五七 十五世二 産業 七ノ世

柰流敝伎已等乎伊波須伎奴可母（キヌカモ）

我帰ルヲナゲキハセノモ云オカズ来ヌベシ心モトナレトヘ

右二首茨城郡若舎人部廣足　常陸（ムバラキ）

於之豆流夜奈爾波能津爾（キミテルヤナニハノツヨリフナヨソヒ）

レハコギヌトイモニツ告ゲ（ケト通コトヅ頼ヘ）

例波許藝奴等伊母爾都岐許曽（ニ常陸タチサ指ユカムカリモ）

比多知散思由可牟加里母我阿我古比乎志（ルニテツ附ケテイモニコト告ラム）

留志豆都祁豆伊母爾志良世牟

右二首信太郡物部道足　常陸ノ（ムツクバヲトヲフ）

阿我母豆能和須例母之（アガモテノワスレモセスニ忘モテハベシヤ）

太波都久波屋乎布利佐氣美都都伊母波之（タヘツクバ山ヲ我ベト思ヒニテ恐ヘ）

利佐氣美都都伊母波之

右一首久慈郡（久慈郡ニアル地）

久自我波波（ハハ母、サ神ク通）

久自我波波可知之自奴伎和波可散里許牟（カヂニ川ベ者ヌキリ吾ハカヘルリコム）

右一首久慈郡丸子部佐壮（九宅マロ）

都久波禰乃佐由流能波奈（ツクハヨノサユリ花ノハナ）

奈之家伊母曽比留毛可（ナシ家イモゾヒルモカ）

阿良例布理可志麻能可美乎（アラレフリカ霰ノ音カマヨキミヲノカ）

阿良例布理可志麻能可美乎伊能利都都須（イノリツヽス皇）

神名帳常陸国鹿嶋神社名神大月並和三年五月丁未奉授常陸国鹿嶋郡従二位勲一等武甕槌命正二位大当十月丁丑従一位神代已可考合

夏ノ季物ハ雲ニ皆ヒ久慈川ト心ヲ玉ニヨリ如何

利佐氣美都都伊母波之（リサケミツヽイモハシ）

久自我波波（久慈郡ニアル地）

久自我波波可知之自奴伎和波可散里許牟（ヌ通バ子ツクハ山ヲ我ベト思ヒニテ恐ヘ）

右一首茨城郡占部小龍（メン）

久自我波波（ハハ母、サ神ク通）

久自我波波可知之自奴伎和波可散里許牟（カヂニ川船ニ乗メ海船ノ云ブ子ニテ）

右一首久慈郡丸子部佐壮（ヲサヲ）

都久波禰乃佐由流能波奈（ツクハヨノサユリ花ノハナ）

奈之家伊母曽比留毛可（ナシ家イモゾヒルモカ）

阿良例布理可志麻能可美乎伊能利都都須（イノリツヽス皇）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

米良美久佐爾和例波伎爾之乎
右二首那賀郡上丁大舍人部千文
多知波奈乃之多布久可是乃可具波志伎都
久波能夜麻乎古比須安良米可毛
右一首助丁占部廣方
阿志加良能美佐可多麻波理可弊理美須阿
例波久江由久阿良志乎母多志夜波婆可流
不破乃世伎久江弖和波由久牟麻能都米都

久志能佐伎爾知麻利爲弖阿例波伊波波牟
母呂母呂波佐祁久等麻乎須可閉利久麻弖爾
右一首倭文部可良麿
二月十四日常陸國部領防人使大目正七
位上息長眞人國島進歌數十七首但拙劣
歌者不取載之
祁布與利波可敝里見奈久弖意富伎美乃之

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

詩圖南曰進ム臣天ノ公候干城

久長令義解之凡役千ノ丁皆十人外給一人一充火頭

サワ天　薩摩ノテ行宇三テ留辛夷山辛夷ノ任玉ヘル国ナレハ辛ノ国ナルヲサツマトイフリ也ハサツ矢モ幸矢ナリ

コノ三俗本タテ・イデタツ

許乃美多呂等伊遅多都和例波
（醜ク黒下ノ身ヲ異ニ恒ヘ　楯ヘ異国ノ寇ヲフセカレトテ白ツ矢生ノ楯ノ如シ君ニ身ヲ投忠ヲ盡スベシトノ心ヘ崇峻紀（可考）崇神紀曰萬人ヲ為天皇楯矛以効其勇而不推固』

右一首火長今奉部與曾布

阿米都知乃可美乎伊乃里豆佐都夜奴伎都
久之乃之麻乎佐之豆伊久和例波
（延喜式左衛門式ノ考入）　筑紫ヲ的ニノ矢ノ行如ノ行トモコソ

右一首火長大田部荒耳　船倉

麻都能氣乃奈美多流美禮婆伊波奴等乃和
例乎美於久流等多多理之母已呂
（送人ノ少キヲ悲ミ帰ルヲ待トモシラ松ニヨソヘメムヤシ）　若ク生ヲヌヲリ如ト同神代紀

右一首火長物部真島

タヒユキニユクトシラズテ
多奴由伎爾久等之良受豆阿母志志爾已
トモ申サズテ　サズテイマヅクヤシ
等麻乎佐受豆伊麻叙久夜之氣

右一首寒川郡上丁川上巨老

阿母刀自母多麻爾母賀母
ヅラノナカニカニカモ
都良乃奈可爾敝麻可爾
都良乃奈可爾敝麻可爾阿敝麻可母
麻乃須我多波和須例西奈布母

右一首津守宿小黒栖

都久比夜波須具波由氣等
ノスガタハワスレセナフモ
麻乃須我多波和須例西奈布母

右一首都賀郡上丁中臣部足國

之良楽美乃與曽流波麻倍爾和可例奈波伊
トモスベナミヤタビツ
刀毛須倍奈美夜多妣久蘇豆布流

右一首足利郡上丁大舍人部禰麿

奈尓波津ヲコ古ヌギテ、ミレバカミサブルイ
古麻多可禰爾久毛曽多楽妣久

右一首梁田郡上丁大田部三成

具爾具爾乃佐伎毛利都度比布奈能里豆和
布多富我美義阿志氣比等奈里阿多由麻比和
我須流等伎爾佐伎母里爾佐酒

右一首那須郡上丁大伴部廣成

都乃久爾乃宇美能奈伎佐爾布奈餘曽比多
志遅毛等伎爾阿母我米母我母

右一首塩屋郡上丁丈部足人

可流乎美禮婆伊刀母須弊奈之

右一首河内郡上丁神麻續部島麿

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』 請求記号 857-47
ガラス使用

二月十四日下野國防人部領使正六位上
田口朝臣大戸（宇宇四年紀）進歌數十八首但拙劣歌者
不取載之（彼人誰時ト云ニ同暁ヘ久也時ハユフベヨテ是モ義ハ同シ仁暁モタモホカニ人顔モワレトモ見分レズ）
阿加等伎乃加波多例等（カハタレドキニシテカギヲコ）
枳爾之麻加枳乎巳（ニノ子ノタツギ嶋陰ヲ）
枳爾之布禰乃他都枳（去ヌル舟ヘ我乗舟ヘ）
右一首助丁海上郡海上國造他田日奉直（姓氏錄左京神別皆本）
得大理（旧事紀卅十下ツ海上国造軽嶋豊明朝御世神上ツ海上国造同祖孫久米直定賜国造又云上海上国造志賀高穴穂朝天穂日命八世孫忍立化多比命定賜国造）
由古作枳爾奈美奈等（行コイト通サキニナミト通）
恵良比志流敝爾波古（ユヒ又撰ヒ）

麿言歟
和名鈔　千ノ葉

乎等（ヲラツヲトラキ）
都麻乎等乎等（妻ヲラヲトラキ）
乎等等枳奴（置キテ）
右一首、葛飾郡和部石島（下総カトシカノ）
和加々、都乃以（門ツノイツモト）
都母等夜奈木枳以（五ツモヤナギイツモ）
都母等於母加古比須（母忘ルキモカコヒテス通ヒ下ル）
奈奈理麻之都之母（奈一須仮名ナ下ル）
右一首結城郡矢作部真長（下総ユフキノ）
知波乃奴乃古乃豆加之（チバノ野ヌノ古ノ児ナヂノ九手ガ擲ノ）
波能保保麻乎保保例等阿（雖ドモ有レ倉ナレ童女ニ手リメシヲ）
夜爾加奈之美於枳豆他加枳奴（高ク三遠ニ処ヘ来リヌベシ）
右一首千葉郡大田部足人

（古本ノ枳ノ字ハ常ノ柏ノ字ノ如ク書ケリ此ハ誤ナルベシ）

多妣等弊等麻多妣爾奈理奴以弊乃母加枳
世之己呂母爾阿加都枳爾迦理
右一首占部虫麿
志保不尼乃弊古祖志良奈美爾波志久母於
不世他麻保加於母波弊奈久爾
右一首印波郡丈部直大歳
牟浪他麻乃久留爾久枳作之加多米等之以
母加去去里波阿用久奈米加母

右一首猨島郡刑部志加麿
久爾具爾乃夜之呂乃加美爾奴佐麻都理阿
加古比須奈牟伊母賀加奈志作
右一首結城郡忍海部五百麿
阿米都之乃以都例乃可美乎以乃良波加有
都久之波波爾麻多巳等刀波牟
右一首埴生郡大伴部麻與佐
於保伎美能美許等爾作例波知知波波乎以

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

波比弊等於枳豆麻爲豆枳麻之乎

右一首結城郡雀部廣嶋

於保伎美能美已等加之古美由美乃美仁佐
尼加和多良牟奈賀氣巳乃用乎

右一首相馬郡大伴部子羊

二月十六日下総國防人部領使少目從七
位下縣大養宿禰浄人進歌數二十二首但
拙劣歌者不取載之

獨惜龍田山櫻花歌一首

多都多夜麻見都都古要許之佐久良波奈知
利加須疑奈牟和我可敝流刀禰

獨見江水浮漂糞怨恨貝玉不依作歌一首

保理江欲利安佐之保美知爾與流許都美可
比爾安里世婆都刀爾勢麻之乎

在舘門見江南美女作歌一首

見和多世婆牟加都乎能倍乃波奈爾保比豆

リテタ(立)ル ハ ハヒレキ
里邑多豆流婆波之伎多我都麻
右三首二月十七日兵部少輔大伴家持
作之

爲(ナリニテ)防人情陳(サキモリノコヽロヲノベ)思(テ)作(ル)歌一首并短歌

オホキミノ ミコトカシコミ
大王乃美己等可之古美
クハアレドモ ミスラヲノココロフ
久波安礼杼母 美須良乎能古許呂布
カドデヲスレバ(是ヨリカタヘヒズ一云ハ父母ノ成テオハル詞ハカキナデ) タヒヲダワレハイハ、
門出乎須礼婆 多比乎多久和礼波伊波、
ワカクサノツマハトリツキ
若草乃都麻波取都吉
若草乃都麻波取都吉
平久和禮波伊波波

ムヨシユキテハヤカヘリコトマヲセ
牟好去而早還來等麻乎蘇
ゴヒムセビツヽカタラヒスレバ(ムラトリノイデタ)
其比牟世比都都言語須禮婆群鳥乃伊遅多
チガテニトゾコホリカヘリミレツヽイヤ
知加豆爾等騰已保里可弊里美之都々伊也
トホニクニヲ(來)キハナレイヤタカニヤマヲコエ
等保爾國乎伎波奈礼伊夜多可爾山乎故要
スギアレ(上ノ点)ガチルナニハ(井)ニキ(居)テユフレホニ
須疑安之我知流難波爾伎爲豆由布之保爾
フネヲウケスエアサナギニ(由)ムケコガ(船)ムト
舩乎宇氣須恵安佐奈藝爾倍牟氣許我牟等
サモラフトワガヲルトキニハルカスミレ(嶋間ニ一云メニ通)ニ(末ノ誤歟)
佐毛良布等和我乎流等伎尓波流可須美礼
タチタヅガ子ノカナシキハロニイヘ(通)
多知豆我子乃可奈之伎波呂尓伊弊
多知豆多頭我禰乃悲鳴婆波呂波呂爾伊弊

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

ヲキモヒデヲビツヤノツヨトナルニデナ
乎於毛比涅於比曾箭乃曾與等奈流麻涅奈
ゲキツルカモ
氣吉都流香母

反歌

ウナバラニカスミタナビキタヅガネノカナシ
宇奈波良爾霞多奈妣伎多頭我禰乃可奈之
キヨヒハクニヘシオモホユ
伎與比波久爾弊之於毛保由
イヘオモフトイヲネズヲレバタヅガナク
伊弊於毛負等伊乎禰受乎禮婆多頭我奈久
アシベモミエズハルノカスミニ
安之弊毛美要受波流乃可須美爾

右十九日兵部少輔大伴宿禰家持作之

カラコロモスソニトリツキナクコラヲオ
可良己呂茂須曾爾等里都伎奈苦古良乎意
キテゾキヌヤオモナシニシテ
伎弖曾伎怒也意母奈之爾志弖

右一首國造小縣郡他田舍人大島

チハヤフルカミノミサカニヌサマツリイ
知波夜布留賀美乃美佐賀爾奴佐麻都里伊
ハフイノチハオモチガタメ
波負伊能知波意毛知知我多米

右一首主帳埴科郡神人部子忍男

オホキミノミコトカシコミアヲクモノタ
意保伎美能美已等可之古美阿乎久牟乃多
ナビクヤマヲコエテキヌカ
奈妣久夜麻乎古江弖伎奴加牟

右一首少長谷部笠麿
二月二十二日信濃國防人部領使上道得
病不來進歌數十二首但拙劣歌者不取載
之
ナニハヂヲ
奈爾波治乎 由伎豆久麻豆等 和藝毛古賀都
氣之 非毛我乎多延爾氣流可母
右一首助丁上毛野牛甘
和我伊母古我志濃比毛
爾西餘等都氣流志比毛

伊刀爾奈流等母和波等可自等余
右一首朝倉益人
和我伊波呂爾由加毛比等母我久佐麻久良
多姚波久流之等都氣流夜良麻久母
右一首大伴部節麿
比奈久母理宇須比乃佐可乎古延志太爾伊
毛賀古比之久和須良延奴可母
右一首池田部子磐前

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

二月二十三日下野國防人部領使大目正
六位下上毛野君駿河進歌數十二首但拙
劣歌者不取載之
陳防人悲別之情歌一首并短歌
大王乃麻氣乃麻爾麻爾島守爾我我多知久
禮婆波波蘇婆能波波能美許等波美母乃須
蘇都美安氣可伎奈埿知知能未乃知知能美
許等波多久頭怒能之良比氣乃宇倍由奈美

太多利奈氣伎乃多婆久可胡自母乃多太比
等里之氐安佐刀埿乃可奈之伎吾子安良多
麻乃等之能乎奈我久安比美受可古非之久
安流倍之今日太仁母許等騰比勢武等乎之
美都都可奈之備伊麻世若草之都麻母古騰
母毛乎知巳知爾左波爾可久美爲春鳥乃巳
惠乃佐麻欲比之路多倍乃蘇埿奈伎奴良之
多豆佐波里和可禮加弖爾等比伎等騰米之

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』 請求記号 857-47
ガラス使用

多比之毛能乎天皇乃美許等可之古美多麻
保己乃美知爾出立乎可之佐伎伊多牟流其
等爾與呂頭多比可弊里見之都追波呂波呂
爾和可禮之久禮婆於毛布蘇良夜須久母安
良受古布流蘇良久流之伎毛乃乎宇都世美
乃與能比等奈禮婆多麻伎波流伊能知母之
良受海原乃可之古伎美知乎之麻豆多比伊
己藝和多利弖安里米具利和我久流麻泥爾

多比良氣久於夜波伊麻佐禰都都美奈久都
麻波麻佐世等須美乃延能安我須賣可未爾
奴佐麻都利伊能里麻乎之弖奈爾波都爾船
乎宇氣須惠夜蘇加奴伎可古登登能倍安
佐婢良伎和波己藝弖奴等伊弊爾都氣己曾

反歌

伊弊妣等乃伊波倍爾可安良牟多比良氣久
布奈弖波之奴等於夜爾麻宇佐禰

三ソラユク、モヽツカヒトヒトハイヘド
麦蘇良由久々母母都可比等比等波伊倍等
イヘヅトヤラムタツギ
伊弊頭刀夜良武多豆伎之良受母
イヘヅトニカヒゾヒ
伊弊都刀爾可比曽比里弊流波麻奈美波伊
ヤレクニタカクヨ
也之久之久二多可久與須禮騰
ニカゲニワガフヲハテ
之麻可氣爾和我布禰波弖
カヒヲナミヤコヒツヽ
可比乎奈美也古非都都由加牟

二月二十三日兵部少輔大伴宿禰家持
ニ枕
麻久良多知已志爾等里波伎麻可奈之伎西

右一首上ツ丁那珂郡檜前舍人石前之妻大
口助ガ

呂我馬伎已無都久乃之良奈久

右一首助丁秩父郡大伴部少歳

於保伎美乃美已等可之古美宇都久之氣麻
オホキミノミコトカシコミウツクシケマ
古我豆波奈禮之末豆多比由久
コガテハナレシマヅタヒユク

志良多麻乎豆爾刀里母之良奈久
シラタマヲテニトリモシラナク
弊奈流伊母乎麻多美豆毛母也
ヘナルイモヲマテミテモモヤ

右一首助丁秩父郡大伴部少歳

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

右一首主帳荏原郡物部歳徳
久佐麻久良多比由久世奈我麻流禰世婆伊
波奈流和禮波比毛等加受禰牟
右一首妻椋椅部刀自賣
阿加胡麻乎夜麻努爾波賀志刀里加爾弖多
麻乃余許夜麻加志由加也良牟
右一首豊島郡上丁椋椅部荒虫之妻宇遲
部黒女

和我可度乃可多夜麻都婆伎麻己等奈禮和
我弖布禮奈奈都知爾於知母可毛
右一首荏原郡上丁物部廣足
伊波呂爾波安之布多氣騰母須美與氣乎都
久之爾伊多里弖古布志氣毛波母
右一首橘樹郡上丁物部眞根
久佐麻久良多妣乃麻流禰乃比毛多要婆安
我弖等都氣呂許禮乃波流母志

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』 請求記号 857-47
ガラス使用

右一首妻椋椅部弟女

和我由伎乃伊伎都久之可婆安之我良乃美禰波保久毛乎美等登志怒波禰

右一首都筑郡上丁服部於田

和我世奈乎都久之倍夜里呂宇都久之美於安之我良乃美佐可爾多志呂蘇渥布良波伊波奈流伊毛波我袖乎佐夜爾美毛可母

右一首妻物部刀自賣

二月二十日武藏國部領防人使揔正六位上安曇宿禰三國進歌數二十首但拙劣歌不取載之

波奈流伊毛波佐可多婆良婆麻佐夜爾美毛可母

右一首埼玉郡上丁藤原部等母麿

伊呂夫可久世奈我許呂母波曽米麻之乎美

佐可多婆良婆婆麻佐夜爾美無

右一首妻物部刀自賣

二月二十日武藏國部領防人使揔正六位上安曇宿禰三國進歌數二十首但拙劣歌不取載之

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

佐伎母利爾由久波多我世登刀布比登乎羨
サキモリニユクハタガセト、フヒトヲミ
流我登毛之佐毛乃母比毛世受
ルガトモシサモノモヒモセズ
阿米都之乃可未爾奴佐於伎伊波比都々伊
アメツシノカミニヌサオキイハヒツヽイ
麻世和我世奈阿禮乎之毛波婆
マセワガセナアレヲシモハバ
伊波乃伊毛呂和乎之乃布良之麻由須比爾
イハノイモロワヲシノブラシマユスビニ
由須比之比毛乃登久良久毛倍婆
ユスビシヒモノトクラクモヘバ
和我世奈乎都久志波夜利弖宇都久之羨叡
ワガセナヲツクシヘヤリテウツクシミ
比波登加奈奈阿夜爾可毛禰牟
ビハトカナ、アヤニカモネム

宇麻夜奈流奈波多都古麻乃於久流我弁伊
ウマヤナルナハタツコマノオクルガヘイ
毛我伊比之乎於伎弖可奈之毛
モガイヒシヲオキテカナシモ
阿良之乎乃伊乎佐太波佐美牟可比多知可
アラシヲノイヲサタバサミムカヒタチカ
奈流麻之都美伊弖弖登阿我久流
ナルマシヅミイデヽトアガクル
佐左賀波乃佐也久志毛用爾奈奈弁加流去
サヽガハノサヤグシモヨニナヽヘカルコ
呂毛爾麻世流古侶賀波太波毛
ロモニマセルコロガハダハモ
佐弁奈弁奴美許登爾阿禮婆可奈之伊毛我
サヘナヘヌミコトニアレバカナシイモガ
多麻久良波奈禮阿夜爾可奈之毛
タマクラハナレアヤニカナシモ

右八首昔年防人歌矣主典刑部少録正
七位上磐余伊美吉諸君抄寫贈兵部少
輔大伴宿禰家持

三月三日撿挍防人勅使并兵部使人等
同集飲宴作哥三首

阿佐奈佐奈安我流比婆理爾奈里弖之可美
也古爾由伎弖波夜加弊里許牟

勝寶九年九月戊戌勅紫微中臺官位令一人正二位官大弼二人正四位下官少弼三人従四位下官大忠四
人正五位下官少忠四人従五位下官大疏四人従六位上官少疏四人正七位上官〇寶字元年八月庚子朔〇帝
受禅癸亥諸臣奉勅改易官号紫微中臺居中奉勅頒行諸司如天地兼天亭毒庶物故改為神宮官

[illegible]

比婆里安我流波流弊等佐夜爾奈理奴禮波
美夜古母美要受可須美多奈妣久

布敷賣里之波奈乃波自米爾許之和禮夜知
里奈牟能知爾美夜古欲由可無

右二首兵部少輔大伴宿禰家持

昔年相替防人歌一首

夜未乃欲能由久左伎之良受由久和禮乎伊
都伎麻左牟等登比之古良波母

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』 請求記号 857-47
ガラス使用

右八首昔年防人歌矣主典刑部少録正
七位上磐余伊美吉諸君抄寫贈兵部少
輔大伴宿禰家持

三月三日撿挍防人勅使并兵部使人等
同集飲宴作哥三首

阿佐奈佐奈安我流比婆理爾奈里弖之可美
也古爾由伎弖波夜加弊里許牟

右一首勅使紫微大弼安倍沙美麿朝臣

比婆里安我流波流弊等佐夜爾奈理奴禮波
美夜古母美要受可須美多奈妣久

布敷賣里之波奈乃波自米爾許之和禮夜知
里奈牟能知爾美夜古敝由可無

右二首兵部少輔大伴宿禰家持

昔年相替防人歌一首

夜未乃欲能由久左伎之良受由久和禮乎伊
都伎麻左牟等登比之古良波母

聖武天皇　此時太上天皇（元正天皇）ハ先ト還リ

先太上天皇（元正天皇）御製霍公鳥歌一首（大和根子高瑞日清足姫天皇也トアリ）

ホトヽギス　ナホモナカナム　モトツヒト　カ

富等登藝須　奈保毛奈可奈牟　毛等都比等　可

ケツヽモト　ナアシハラヒト　ヒトクモ

氣都都母等　奈尓安乎禰之　奈久母

陞（サキノ）妙觀應（元正紀ヘミ）詔奉和歌一首

ホトヽギス　ニチカクナキテヨ　ス

保等登藝須　許許爾知可久　奈伎弖余須

ギナムノチニルレアラメヤモ

疑奈無能知爾之流志安良米夜母

冬日幸于（マス）ニ　大和奈良ノ近処ニアリ

冬日幸于（マス）ニ　勅（勅）負御井（ニ）之時内命婦石川朝臣應（ソ）詔（ニ）賦（スル）ニ）雪歌一首

ヒメトネキミ　日本紀ニ未四位上命婦ト

内命婦石川朝臣　諱曰色婆（イロメハト）　一云色婆（オホハ）

モシハ飲食ノ水ニ池沼ノ水ヲイフカ

光仁天皇宝亀二年三月甲申置酒賜二侍従已上及文士一賦レ曲水者禄ヲ有差

綾日本紀ニ薩妙觀ト二処ニ見ユ

是ハ元明天皇ノ崩御ノ後ナトヨセモノ

ツヽカエノツチニツク

麻都我延乃都知爾都久麻（ズ）テヤイモガコモリヲル（隠）

受豆也伊毛我許母里乎流（ム）良牟

于時水主（モムト）内親王寝膳不安（テ）累日（テ）不參因以（テ）

此日（ヲ）太上（聖武）天皇勅（ソ）侍嬬等（ニ）曰爲遣水生（カモヒトリノ）内親

王（ニ）賦雪作歌（シテ）奉獻者於是諸命婦等不堪作（シ）ニ）

歌（ヲ）而此石川命婦獨作此（ニ）歌奏之（スヲ）

右件四首上總國大掾正六位上大原眞

人今城傳誦云爾（ソ）

年月未詳（ヲ）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

上總國朝集使大掾大原眞人今城向京之
時郡司妻女等餞之歌二首

安之我良乃夜敝也麻故要氏伊麻之奈婆多
礼可伎美都都志努波牟
多知之奈布伎美我多乎和須禮受波與
能可藝里爾夜故非和多里奈無

五月九日兵部少輔大伴宿禰家持之宅集
飲歌四首

和我勢故我夜度乃奈呂之故比奈良倍呂安
米波布禮杼母伊呂毛可波良受

右一首大原眞人今城

比佐可多乃安米波布里之久奈呂之故我伊
夜波都波奈爾故非之伎和我勢

右一首大伴宿禰家持

和我世故我夜度奈流波疑乃波奈佐可牟安
伎能由布弊波和禮乎之努波世

右一首大原真人今城

即聞鶯哢作歌一首

宇具比須乃許恵波須疑奴等於毛倍杼母之
美爾之許已呂柰保古非爾家里

右一首大伴宿禰家持

同月十一日左大臣橘卿宴二右大弁丹比國人真人之宅一歌三首

和我夜度爾佐家流柰呂之故麻比波勢牟由
米波柰知流柰伊也乎知爾左家

右一首丹比國人真人壽左大臣歌

麻比之都都伎美我於保世流奈呂之故我波
奈乃未等波無伎美奈良奈久爾

右一首左大臣歌

安治佐為能夜敝敝佐久其等久夜都與爾乎伊
麻世和我勢故美都都思努波牟

右一首左大臣寄味狭藍花詠也

紫陽花

十八日左大臣宴於兵部卿橘奈良麿朝臣
之宅歌三首
奈弖之故我波奈等里母知弖宇都良宇都良
美麻久能冨之伎吉美爾母安流加母
右一首治部卿船王
和我勢故我夜度能奈弖之故知良米也母伊
夜波都波奈爾佐伎波麻須等母
宇流波之美安我毛布伎美波奈弖之故我波

奈爾奈曾倍弖美禮抒安可奴香母
右二首兵部少輔大伴宿禰家持追作
八月十三日在内南安殿肆宴歌二首
乎等賣良我多麻毛須蘇婢久許能爾波爾安
伎可是不吉弖波奈知里都々
右一首内匠頭兼播磨守正四位下安宿王
奏之
安吉加是能布伎古吉之家流波奈能爾波伎

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』 請求記号 857-47
ガラス使用

續後撰　井手左大臣
子モシロクヘニフレル白雪　六帖同

欲伎都久欲仁義禮杼安賀奴香母
右一首兵部少輔從五位上大伴宿禰家
持　未奏
十一月二十八日左大臣集於兵部卿橘奈
良麿朝臣宅宴歌一首
高山乃伊波保爾於布流須我乃根能禰母許
呂其呂爾布里於久白雪
右一首左大臣作

釈名曰夫之姉曰命婦〻服也服〻事也夫受命於朝〻妻受命於家也
新千載春上　井手左大臣
欽明紀
多〻ハ策〻婢ハ佐備〻并十五ニモ多〻マカモトコメルニ同班田役ノハカリコトイソカシキ心
多〻マハ策〻
山城国泉川樺井渡
式平又雑式廿六
芥那井　古事記中
芥幡戸辺〻人名　垂仁紀

天平元年班田之時使葛城王從山背國贈
薩妙觀命婦等所歌一首　副芹子裹
安可禰佐須比流波多多婢呂奴婆多麻乃欲
流乃伊刀末仁都賣流芹子許禮
薩妙觀命婦報贈歌一首
麻須良乎等於毛敝流母能乎多知波吉氐可
爾波乃多爲爾世理曾都美家流
右二首左大臣讀之云爾　左大臣ハ是葛城王後賜橘姓也

天平勝寶八歲丙申二月朔乙酉二十四日
（天皇幸依日本紀才十九）
戊申太上天皇（聖武）皇太后（光明）行幸於河内離宮（イテマス　カリミヤニ）
經信以壬（廿八日ヨリ廿八日迄ナリ此上落字ナリ）子傳（キス）幸於難波宮（宮本ニ一ニトアリ）也
三月七日於河内國（ムマノ史歟考ヘシ）伎人（ヒト）鄉馬國人之家（（佐伯宿禰ノ誤ナルベシ）ワサト日本紀ニ名ミエタリ）
（序謀記ノ所ノ名ミエタリ）
宴歌（ウタ）三首
須美（スミノエノハマ）乃江能波麻未都我根乃之多婆倍豆和（松根ノハラトヨミツベク子ガ子ノレ慕（シタ）テワ延（ハヘ）ム）
我見流乎努（ノ野）能久佐加利曽禰（心ナクモ苅リソ子）
右一首兵部少輔大伴宿禰家持

新勅恋四
河内國ニテヨメル二
近江ノ名所ヨトリ出タレバ但時ヲ違メル
古考ナリケルニヤト

ニホドリノ（息キナ長ガ）
爾保杼里乃於吉奈我河波半多延奴等母伎（エヌトモキ）
三ニカタラムコトツキメヤモ　古新未詳
美爾可多良武已等都奇米也母
右一首主人（アルジ）散位寮散位馬史國人（サンヰノツカサノサカハノフヒトクニヒト）
蘆苅（アシカリニ）爾保里江許奈（ホリエコグナル）可治能於等波於保（カヂノオトハオホ）
ミヤビトノミナキニデニ）
美也比等能未奈伎伎久麻泥爾
右一首式部少丞大伴宿禰池主讀之（ヨメリ）即云
兵部大丞大原真人（ノ）今城先日他所讀歌者（テヘリ）
也

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

官本 自此歌以下 至八年五月二日云々 聖武天皇崩御之後追暦之歟以何知者彼崩御天平勝宝八年五月二日也然此哥同年六月十七日作之故也

保利江巳具伊豆手乃船乃可治都久米於等
（ホリエコグイヅテノフネノカヂツクメオト）
之婆多知奴美乎波也美加毋
（シバタチヌミヲハヤミカモ）
保里江欲利美乎左可能保流梶乃音乃麻奈
（ホリエヨリミヲサカノボルカヂノオトノマナ）
久曽奈良波古非之可利家留
（クゾナラハコヒシカリケル）
布奈藝保布保利江乃可波乃美奈伎波
（フナギホフホリエノカハノミナギハニ）
爲都都奈久波美夜故抒里香蒙
（ヰツツナクハミヤコドリカモ）
保等登藝須麻豆奈久安佐氣伊可爾世波妾和
（ホトトギスマヅナクアサケイカニセバワ）

但此巻中不称作者名字徒録年月諸処縁起者皆家持作之詞也

本 今勘至此哥聖武天皇御在世之時歌也仍假叙覧之將此集家持歌可

我加度須疑自可多利都具麻遲
（カドスギジカタリツグマデ）
保等登藝須可氣都都伎美我麻都可氣爾比
（ホトトギスカケツツキミガマツカゲニヒ）
毛等伎佐久流都奇知可都伎奴
（モトキサクルツキチカヅキヌ）
右二首二十日大伴宿禰家持依興作之

喩族歌一首 并短歌

此哥ヨリ聖武崩後 當集長哥ノ終

多可知保乃 日向国風土記曰天津彦々火瓊々杵尊離天磐座排天八重雲稜威之道別々而天降於日向高千穂二上之峯時天暗冥晝夜不別人物失道物色難別於茲有土蜘蛛名曰大鉗小鉗二人奏言皇孫尊以尊御手抜稲千穂為籾投散四方必得開晴于時如大鉗等所奏搓千穂稲為籾投散四方天開晴日月照光因曰高千穂二上峯後人改号知鋪 又日本紀第二高皇産霊尊以真床覆衾裹天津彦国光彦火瓊々杵尊則引開天磐戸排分天八重雲以奉降之于時大伴遠祖天忍日命帥来目部遠祖天槵津大来目背負天磐靫臂著稜威高鞆手捉天梔弓天羽々矢及副持八目鳴鏑又帯頭槌剣而立天孫之前遊行降来到於日向襲之高千穂槵日二上峯天浮橋而立於浮渚在之平地膂宍空国自頓丘覓国行去到於吾田長屋笠狭之御碕 日本紀上

之麻可胡也乎多

ホリエコグイヅテノフ子ノカヂツクメオト
保利江巳具伊豆手乃舩乃可治都久米於等
シバタチヌミヲハヤミカモ
之婆多知奴美乎波也美加毋
ホリエヨリミヲサカノボルカヂノオトノマナ
保里江欲利美乎左可能保流梶乃音乃麻奈
クゾナラハコヒシカリケル
久曾奈良波古非之可利家留
フナギホフホリエノカハノミナギハニ
布奈藝保布保利江乃可波乃美奈伎波爾
ヰツヽナクハミヤコドリカモ
爲都都奈久波美夜故抒里香蒙
右三首江邊作之
ホトヽギスマヅナクアサケイカニセバ
保等登藝須麻豆奈久安佐氣伊可爾世波

カドスギジカタリツグマデ
我加度須疑自可多利都具麻溼
ホトヽギスカケツヽキミガマツカゲニヒ
保等登藝須可氣都都伎美我麻都可氣爾比
モトキサクルツキチカヅキヌ
毛等伎佐久流都奇知可都伎奴
右二首二十日大伴宿禰家持依興作之
詠㳺旋歌一首 并短歌
ヒサカタノアマノトヒラキタカチホノダ
比左加多能安麻能刀比良伎多可知保乃多
ケニアモリシスメロギノカミノミヨヨリ
氣爾阿毛理之須賣呂伎能可未能御代欲利
ハジユミヲタニギリモタシマカゴヤヲタ
波自由美乎多爾藝利母多之麻可胡也乎多

波左義蘇倍弖於保久米能麻須良多祁乎乎
佐吉爾多弖由伎登利於保世山河乎伊波禰
左久美弖布美等保利久爾麻藝之都都知波
夜夫流神乎許等牟氣麻都呂倍奴比等乎母
夜波之波吉伎欲米都可倍麻都里弖安吉豆
之萬夜萬登能久爾乃可之婆良能宇禰備乃
宮爾美也婆之良布刀之利多弖氐安米能之
多之良志賣之祁流須賣呂伎能安麻能日繼

等都藝弖久流伎美能御代御代加久佐波奴
安加吉許巳呂乎須賣良弊爾伎波米都久之
弖都加倍久流於夜能都可佐等許等太弖氐
佐豆氣多麻敝流宇美乃古能伊也都藝都岐
爾美流比等乃可多里都藝弖氐伎久比等能
可我見爾世武乎安多良之伎吉用伎曾乃名
曾於煩呂加爾巳許呂於母比弖牟奈許等母
於夜乃名多都奈大伴乃宇治等名爾於敝流

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

波左義蘇倍弖於保久米能麻須良多祁乎乎
佐吉爾多弖由伎登利於保世山河乎伊波禰
左久美弖布美等保利久爾麻藝之都都知波
夜夫流神乎許等牟氣麻都呂倍奴比等乎母
夜波之波吉伎欲米都可倍麻都里弖安吉豆
之萬夜萬登能久爾乃可之婆良能宇禰備乃
宮爾美也婆之良布刀之利多弖氐安米能之
多之良志賣之祁流須賣呂伎能安麻能日繼

等都藝弖久流伎美能御代御代加久佐波奴
安加吉許巳呂乎須賣良弊爾伎波米都久之
弖都加倍久流於夜能都可佐等許等太弖氐
佐豆氣多麻敝流宇美乃古能伊也都藝都岐
爾美流比等乃可多里都藝弖氐伎久比等能
可我見爾世武乎安多良之伎吉用伎曾乃名
曾於煩呂加爾巳許呂於母比弖牟奈許等母
於夜乃名多都奈大伴乃宇治等名爾於敝流

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』 請求記号 857-47
ガラス使用

麻須良乎能等母
之奇志麻乃夜末等能久爾
爾於布等毛能乎已許呂都刀米與
都流藝多知伊與餘刀具倍之伊爾之敞由佐
夜氣久於比豆伎爾之曽乃名曽
右緣淡海眞人三船讒言出雲守大伴古慈
悲宿禰解任是以家持作此歌也
卧病悲無常欲修道作歌二首

宇都世美波加受奈吉身奈利夜麻加波乃佐
夜氣吉見都都美知乎多豆禰奈
和多流日能加氣爾伎保比豆多豆禰豆奈伎
欲吉曽能美知未多母安波無多米

願壽作歌一首

美都煩奈須可禮流身曽等波之禮杼母
保之禰可比都知乎能知乎

以前歌六首 六月十七日大伴宿禰家持作

冬十一月五日夜小雷起鳴雪落覆庭忽
今ハ春ノ初トスル比ニハ冬ナミ

懐歎聊作短歌一首

奈氣能已里能由伎爾安倍豆流安之比奇之夜
ナゲキノコリニアヒテル

麻多知波奈乎都刀爾通彌許奈
マタチバナヲツトニツミコナ

右一首兵部少輔大伴宿禰家持

八日讃岐守安宿王等集於出雲掾安宿奈
杼麻之家宴歌二首
キホキミノミコトカシコミオホクラヨ

於保吉美乃美許等加之古美於保乃牟良乎
出雲

曽我比爾美都々美古敝能保流
ソガヒニミツヽミヤコヘノボル

右一首守山背王歌也主人安宿奈杼麻語
山背王出雲ノ行ヲ云

云柰杼麻被差朝集使擬入京師因此餞之
日各作此歌聊陳所心也

武良等里乃安佐太知伊爾之伎美我宇倍波
ムラトリノアサタチイニシキミガウヘハ

曽我比爾美都々美古敝能保流
ソガヒニミツヽミヤコヘノボル

右一首守山背王歌也主人安宿奈杼麻語
山背王出雲ノ行ヲ云

云柰杼麻被差朝集使擬入京師因此餞之
日各作此歌聊陳所心也

武良等里乃安佐太知伊爾之伎美我宇倍波
ムラトリノアサタチイニシキミガウヘハ

宇知比左須美也古乃比等等爾都氣麻久波美
ウチヒサスミヤコノヒトニツゲマクハシ

之比乃其等久安里等都氣許曽
ニヒノゴトクアリトツゲコソ

左夜加爾伎吉都於毛比之其等久 一云於
毛比之母乃乎

右一首兵部少輔大伴宿禰家持後日追
和出雲守山背王歌作之

二十三日集於式部少輔大伴宿禰池主之
宅飲宴歌二首

波都由伎波知敝爾布里之家故非之久能於
保加流和禮波美都都之努波牟

右二首兵部大丞大原真人今城
傳誦之也

智努女王卒後圓方女王悲傷作歌一首
長屋王之女

由布義理爾知杼里乃柰吉志佐保治乎婆安
佐保也三居住トミ人タリ

良之也之豆牟美流乎與之乎柰美
續日本紀十五

大原櫻井眞人行佐保川邊之時作歌一首

佐保河波爾許保里和多禮流薄氷乃宇

於久夜麻能之伎美我波奈能其等也之頻之久之
久伎美爾故非和多利柰無

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

六帖ニ樋又檣等ノ題ニ入ルハ誤之

須伎許巳呂乎和我於毛波奈久爾
（スキコヽロヲワガオモハナクニ）

藤原夫人歌一首

淨御原宮御宇天皇之夫人也　字曰氷上大刀自也

安佐欲比爾䄍能未之奈氣婆夜伎多知能刀
（アサヨヒニ子ノミヽナケバヤキダチノト）
其巳呂毛安禮波於母比加禰都毛
（ゴヽロモアレハオモヒカ子ツモ）

六帖ニハ聖武ヲアメノミカド、コメリ

可之故伎也安米乃美加度乎可氣都禮婆
（カシコキヤアメノミカドヲカケツレバ）
能未之奈加由安左欲比爾之弖
（ノミシナカユアサヨヒニシテ）

作者未詳

右件四首傳讀兵部大丞大原今城

前ニ冬ノ二八ヲ三テ今ヲ改ル次ノ勝宝九歳ヲ此上ニナヲシテ可宜

天武天皇十三年三月癸未朔庚寅吉野人宇閉直弓貢白海石榴

三月四日於兵部大丞大原眞人今城之宅宴歌一首

安之比奇能夜都乎乃都婆吉都良都良爾
（アシビキノヤツヲノツバキツラツラニ）
等母安加米也宇惠弖家流伎美
（トモアカメヤウヱテケルキミ）

右兵部少輔大伴家持屬植椿作

保里延故要等保伎佐刀麻弖於久利家流伎
（ホリエコエトホキサトマデオクリケルキ）
美我許己呂波和須良由麻之目
（ミガコヽロハワスラユマシメ）

右一首播磨介藤原朝臣執弓赴任悲別

宝字元年五月正六位上藤原執弓授従五位下

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

歌ヲ
也主人大原今城傳讀云爾

右一首（在二行アテ下同）勝寶九歳六月二十三日於大藏物三形王之宅（ニ）宴（スル）歌一首

宇都里由久時見其登爾許已呂伊多久牟可之能比等之於毛保由流加母

（ウツリユクトキミルゴトニコヽロイタクムカノヒトシオモホユルカモ）

右兵部大輔大伴宿禰家持作（始テ家持ヲ大輔ト書リ）

佐久波奈波宇都呂布等伎安里安之比奇乃夜麻須我乃禰之奈我久波安利家里

（サクハナハウツロフトキアリシビキノヤマスガノ子ニ如ナガクハアリケリ）

三枚王父ト家持得喜改ニ恩ニ出スルヘシ

色ヨキ物ハウツロヒトヨシナキ物ハウラロハズ

右一首大伴宿禰家持非悲怜物色變化作之

也

時花伊夜米豆良之母可久之許曽賞之安伎良米晩阿伎多都其等爾

（トキノハナイヤメヅラシモカクシコソメニアキラメヽアキタツゴトニ）

免宿

右一首大伴宿禰家持作之

紀二此宴ノモヨセリ

天平寶字元年十一月十八日於内裏肆宴歌一首

勝宝九歳三月戊辰天皇寢殿兼歴之裏天下太平四字自生焉庚午勅召親王及群臣令覓瑞字八月己丑駿河国益頭郡金剌舎人麿獻「奉産成字」以下卷

哥二首

（アメツチヨテラスヒツキノアルベキヽミナルベシヤモ）

天地乎豆良須日月能極奈久阿流倍伎母能

乎奈爾加於毛波牟（ヲナニカオモハム　乎阿類）

右一首皇太子御歌（廢帝）

伊射子等毛多波和射奈世曽（イザコドモタワザナセソ）

之久爾曽夜麻登之麻禰波（シクニゾヤマトシマネハ　下心ニ記カ心ヲヨメリ）

右一首内相藤原朝臣奏之（内相勝）

十二月十八日於大監物三形王之宅宴歌（ニ　ス　ヲ　ニ　ヌ）

三首

三雪布流布由波祁布能未（ミユキフルフユハケフノミ）

奈加牟春敝（ナカムハルベ）

十九日立春（十九日立春ノ）

波安須爾之安流良之（ハアスニシアルラシ　十九日立春ト云）

右一首主人三形王

宇知奈婢久波流乎知可美（ウチナビクハルヲチカミ）

比能都久欲可須美多流（ヒノツクコカスミタル）

右一首大藏大輔甘南備伊香真人（孝謙位勝宝三年甘南備真人姓ヲ賜ハルト云ハ誤ナルベシ）

安良多末能等之由伎我敝理波流多多婆末（アラタマノトシユキカヘリハルタタバマ）

豆和我夜度爾宇具比須波禁家（ヅワガヤドニウグヒスハナケ）

右一首右中弁大伴宿禰家持

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

於保吉宇美能美奈曽母已布可久於毛比都々
モビキナラシ、スガ太和ハラノサト
毛婢伎奈良之思須我波良能佐刀

右一首藤原宿奈麿朝臣之妻石川女郎
薄愛離別悲恨作歌也　年月未詳

二十三日於治部少輔大原今城眞人之宅
宴歌一首

都奇餘米婆伊麻太冬奈里之可須我爾霞多奈ビキハルタチヌト
奈婢久波流多知奴等可

右一首中弁大伴宿禰家持作

紀宝字二年春正月戊寅詔曰、
二年春正月三日召侍從竪子王臣等令侍
於内裏之東屋垣下即賜玉箒肆宴于時内
相藤原朝臣奉勅宣諸王卿等隨堪任意作
歌并賦詩仍應詔各陳心緒作歌賦詩

末得諸人之賦
詩并作歌也

始春乃波都禰乃家布能多麻婆波伎手爾等
流可良尓由良久多麻能乎

右一首右中弁大伴宿禰家持作但依大藏
政不堪奏之也
水鳥乃可毛能羽能伊呂乃青馬乎家布美流
比等波可藝利奈之等伊布
右一首爲七日侍宴右中弁大伴宿禰家持
預作此歌但依仁王會事却以六日於内裏
召諸王卿等賜酒肆宴給禄因斯不奏也
六日内庭假植樹木以作林帷而爲肆宴

歌一首
打桼婢久波流等毛之流久宇具比須波宇恵
木之樹間乎奈伎和多良奈牟
右一首右中辨大伴宿禰家持　不奏
二月於式部大輔中臣清麿朝臣之宅宴歌
十首
宇良賣之久伎美波母安流加夜度乃烏梅能
知利須具流麻泥美之米安利家流

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

右一首治部少輔大原今城眞人
美牟等伊波婆伊奈等伊波米也宇梅乃波奈
知利須具流麻豆伎美我伎麻世波
右一首主人中臣清麿朝臣
波之伎余之家布能安路自波伊蘇麻都能都
禰爾伊麻佐禰伊麻母美流流其等
右一首右中弁大伴宿禰家持
和我勢故之可久志伎許散婆安米都知乃可
未乎許比能美奈我久等曽於毛布
右一首主人中臣清麿朝臣
宇梅能波奈乎加具波之美香乎加具波之美
許呂母之努爾伎美乎之曽於毛布
右一首治部大輔市原王
夜知久佐能波奈波奈奈利等伎波奈流麻
都能左要太乎和禮波須婆奈
右一首右中弁大伴宿禰家持

烏梅能波奈左伎知流波流能奈我伎比乎美
禮杼母安可奴伊蘇爾母安流香毋
右一首大藏大輔甘南備伊香真人
伎美我伊敝能伊氣乃之良奈美伊蘇爾與世
之婆之婆美等母安加無伎彌加毛
右一首右中弁大伴宿禰家持
宇流波之等阿我毛布伎美波伊也比家爾伎
末勢和我世古多由流日奈之爾

右一首主人中臣清麿朝臣
伊蘇能宇良爾都禰欲比伎須牟乎之杼里能
乎之伎安我未波伎美我末仁麻爾
右一首治部少輔大原今城真人
依興各思高圓離宮處作歌五首
多加麻刀能努乃宇倍能美也婆安禮爾家里
多多志伎美能美與等保曽氣婆
右一首右中弁大伴宿禰家持

多加麻刀能乎能宇倍乃美也波安禮奴等母
多多志志伎美能美奈和須禮米也
右一首治部少輔今城真人
多可麻刀能努敝波布久受乃須惠都比爾知
與爾和須禮牟和我於保伎美加母
右一首主人中臣清麿朝臣
波布久受能多要受之努波牟於保吉美能賣
之恩野邊爾波之米由布倍之母

右一首右中弁大伴宿禰家持
於保吉美乃都藝弖賣須良之多加麻刀能努
敝美流其等爾禰能未之奈加由
右一首大藏大輔甘南備伊香真人
屬目山齋作歌三首
乎之能須牟伎美我許乃之麻家布美禮婆安
之婢乃波奈毛左伎爾家流可母
右一首大監物御方王

イケミヅニカゲサヘミエテサキニホフアヂレビノハナヲソデニコキイレツヽ
伊氣美豆爾可氣左倍見要底佐伎爾保布安
之婢乃波奈乎蘇豆爾古伎禮奈
右一首右中辨大伴宿禰家持
イソカゲノミニルイケミヅテルツヽニサケルアヂレビノチラマクヲシモ
伊蘇可氣乃美由流伊氣美豆伎流麻遅爾左
家流安之婢乃知良麻久乎思毋
右一首大藏大輔甘南備伊香真人

二月十日於内相(押勝)宅餞渤海大使(小野)小野田守朝臣等宴歌一首
(旧居首列位一百四十九新居首列位一百四十四)
(宇字二年九月丁亥小野朝臣田守等至自渤海大使藤原朝臣刷雄等奉勅改渤海使小野朝臣田守等為送高麗使仍賜姓高麗朝臣又宇字二年九月丁卯渤海大使従五位下小野朝臣田守従五位上案ズルニ軍行木見前朝史著兵署少正楊美廣以下廿三人遣田守等朝使渤海使小野田守等送高麗使ノ誤カ)
(渤海高麗今ノ朝鮮ヘ此時安倍山ノ勝今也)

阿乎宇奈波良加是奈美奈奴比伎久左久佐
都都牟許等奈久布禰波夜家無
右一首右中弁大伴宿禰家持未レ誦レ之
(ツヽガナク)

七月五日於治部少輔大原今城真人宅餞(ニ)(ノ)
因幡守大伴宿禰家持宴歌一首
(アキカゼノスヱフキナビクハギノハナトモニカザセルアヒハタノシモ)
秋風乃須恵布伎奈婢久波疑能花登毛爾加
(ズアヒカヌワカレムト)
敝左受安比加和可禮牟
右一首大伴宿禰家持作之

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

三年春正月一日於因幡國廳賜饗國郡司
等之宴歌一首
新年之始乃波都波流由伎能家布敷流由伎能伊
夜之家餘其騰

右一首守大伴宿禰家持作之

孝徳天皇白雉元年二月庚午朝改賓宍戸国司草壁連醜経献白雉曰○是以白雉使放于国
中甲申朝庭訖仗如元會儀○天皇即召皇太子共執而観皇太子良而再拝使巨勢大臣奏賀
曰公卿百人等奉賀奏訖再拝○天智天皇十年春正月己亥朔庚子大錦上廹我赤兄臣与
大錦下巨勢臣進於殿前奏賀正事○持統天皇四年春正月戊寅朔物部八十氏朝臣物大臣神
祇伯中臣大嶋朝臣読天神寿詞畢忌部宿祢色夫知奉上神宝鏡皇后〻即天皇位○同
十一年十一月戊辰朔大嘗神祇伯中臣大嶋読天神寿詞○延喜五年二月己巳出雲国造出雲臣国成奏神
吉事其儀如常○延喜式才一云中臣進就座宣祝詞

廿卷歌數都合四千五百四十二首内
長二百六十六首 短四千二百六十六首 旋頭六十三首

奉賀 左経記
賀正 神代紀
寿詞 持統紀
祝詞 延喜式
吉事 凭日本紀 定正理正字也

先度書本云
斯本者肥後大進忠兼之書也件表紙書云以
讃州本書寫畢以江家本校畢又以梁園御本
校畢又以孝言朝臣本校畢者可謂證本者數
又校本云以前官左金吾本書寫畢保安二年七
月以數本比校畢又以中務大輔本校畢件本
表紙書云以宇治殿御本通俊本校畢者
抑先本校合之根源并今本假名色々事第一

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

卷奥先記之畢愚老年來之間以數本比校之
頗異說且千也其中於大段不同有三種差別
一者卷目錄不同之者歌詞高下不同三者假
名離合不同也初卷々目錄不同者如松殿御
本在京兆本已上兩本共帥中納言伊房卿手跡也忠兼等本者
廿卷皆以卷々端目六在有仲之但目六之詞各有少
異就中第廿卷目六有三重相違或本者諸國
防人等名字皆以載之或本者始自遠江國防
人部領使至于上野國防人部領使已上九箇
國者雖舉所進歌負數不舉防人一々名字於
武藏一國書載防人等十二人之名字或本者
如以前九箇國武藏防人所進歌舉其負數許
也此說可宜歟尤可同自餘九箇國也凡他卷
目六舉歌員數事大旨如此也今愚本附順之
畢如二條院御本之流并基長中納言本之流
尚書禪門真觀本元家隆卿本也者至于第十五卷目

六在之第十六卷以下五卷無目六自本如此
本一流有之歟或又有都無目六本也又卷之
初舉長歌員數書之短歌何首等假令第五卷
初書之短歌十首反歌百三首等也是則以長
歌爲短歌僻料簡之所爲歟次反歌者相副長
歌之時短歌也故長歌次有短歌之時或書之
反歌或書之短哥者也而何一卷内短歌摠以
謂之反歌乎其誤非一歟如忠兼本者都不書

之尤佳也如松殿御本者短歌何首等雖書之
其註差本無之云尤可然次歌詞高下不同者
如光明峯寺入道前攝政家御本鎌倉右大臣
家本忠兼本者歌高詞下先度愚本移之畢法
性寺殿御自筆御本又同之也雖然古本并可
然本々多以端作詞者指舉書之歌者引下書
之所謂松殿御本二条院御本之流并忠定卿
本尚書禪門本左京兆本皆同道風行盛等手

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』 請求記号 857-47
ガラス使用

跡本同以詞擧歌下仍去今兩年二箇度書寫
本移之畢凡序題并端作詞指擧書之詩歌引
下書之事者古書之習歟就中御宇年号等擧
書之者時代分明尤佳也三假名離合不同
者倩案事情天暦御宇源順等奉勅初奉和
之剋定於漢字之傍付進假名歟仍慕往昔之
本故先度愚本於漢字之右付假名畢是則其
徳非一。也其徳者一者料紙。三分之一書寫惟
安二者和漢相並見合無煩和漢別時者短歌
猶以校勘有煩何況於長歌乎三者若和漢訛
謬無隱四者和漢一所疑了字聲五者未付假
名歌有和之所本雖似有其理徒然闕行無用
也一向漢字書之時者有徳無難者歟於是去
弘長二年初春之比以大宰大貳重家卿自筆
本令校合之處於漢字之右被付假名彼本第
十巻奥書云承安元年六月十五日以平三品

經感本手自書寫畢件本以二條院御本書寫本也他本假名別書之而却自傍處被付假名於眞名珎重〻〻等云愚本假名皆以符合水月觸即感應道交觀悦餘身似覺悟曉者歟其後聞古老傳說云天曆御宇源順奉　勅宣令付假名於漢字之傍畢然又法成寺入道殿下爲令獻上東門院仰藤原家經朝臣被書寫萬葉集之時假名歌別令書之畢爾來普天移之云云

然而遠風手跡本假名歌別書之古老之說有相違歟後賢勘之以前三箇不同等令採用其善所書寫此本也只事一身之恥豈未顧多情之疑謗自感數奇屢垂哀淚而已去年書寫本者依中務卿親王之仰令獻上之畢仍更所令書寫也

（此奈二テ八文永二年ヘ下廿六字官本先之）

文永三年歲次丙寅八月廿三日

權律師仙覺記之

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

此奥書ヨリ成俊記之至奥書無之禁御本奥有之

書寫本云

應長元年十月廿五日以相傳說不殘秘訓
(九十四 花園)

授申源幸公訖

陰蘿芝代玉松之枝緒吹風赤土與路津葉公
(當集第六廿七丁)

野佐々良之光波

桑門寂印在判

萬葉集余過目以後書寫之而有可奉呈松壇
(九十五 後陽明 光嚴)

志已久矣爰逢元弘建武間陵谷轉變亂而不
(九十六)

能容於身窮居忽離寺門游歷涇津也影孤他
鄉之月濯足世波之濁自然以來徒蹈歲霜閱
光景也今雖歸舊隱未入寺門信州於姑捨山
之麓結草爲廬養餘生耳云有佳客携此集來
問余々晤語云僕有志願積年不果之而曆涼
(歷半)

爍行年已向七旬也老眼有不堪筆之慙卷而

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

懐之客聞之乃感余誠心而此集全部廿巻書
寫之而投于余々手舞之足蹈之日宿望已成
之便拭老眼手自加和字之筆跡於敦書者也
抑於和字音義從京極黄門之以降尋八雲之
跡之輩高卑伺其趣者數仍天下大底守彼式
而異之族一人而無之依之人々似背萬葉古
今等之字義者也僕又專彼式而用來年久今
時又亦不背之將來又以可然者也但特地於
萬葉集至于書加和字於漢字右而聊引散愚
性之僻案偏任當集之音義所令點之也是旦
非自由且非無所詮其故者依當世之音義書
用其和字之則違萬葉集儀理之事在之所謂
當集者遠近之遠字之假名者登保登書之草
木枝條之撓乎者登乎登乎登書之當世遠近之遠
字和音者登乎登書之然者用書此和音者所
可令集之字語相違也又書字惠者殖也書字

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

857
47

應長元ト云ヨリ此奥書之御本ノ通之

邊者上也此外此類雖有之恐繁而註別紙畢

之爾已

九十九後光嚴
文和二年癸巳中秋八月二十五日

權少僧都成俊記之

元禄二年己巳四月十九日校讎了

密乘末資契沖

寛永貳拾年 癸未 彌月吉日

洛陽三条寺町松雲願寺前安田十兵衛刷刊

今井氏本奥書

元禄十三年庚辰九月九日書入積功四年于此
元禄九年五月十二日聞講延同九月十八日終

稲口氏奥書

正徳二年壬辰秋七月以今井氏藏本之代巡記 万葉抄契沖作一部廿八巻
貸之同年至十月晦日夜校合之竒〻以此本書入畢

万葉集書入享保十四年後九月四日宗武師當集閑論之刻以彼藏本書寫之雖然其節宦途多事無浮生半日之閑暇徒過光陰矣尓来蝸廬幽居之日漸染禿筆以終其功矣踈懶之悪筆堅禁傍觀者也

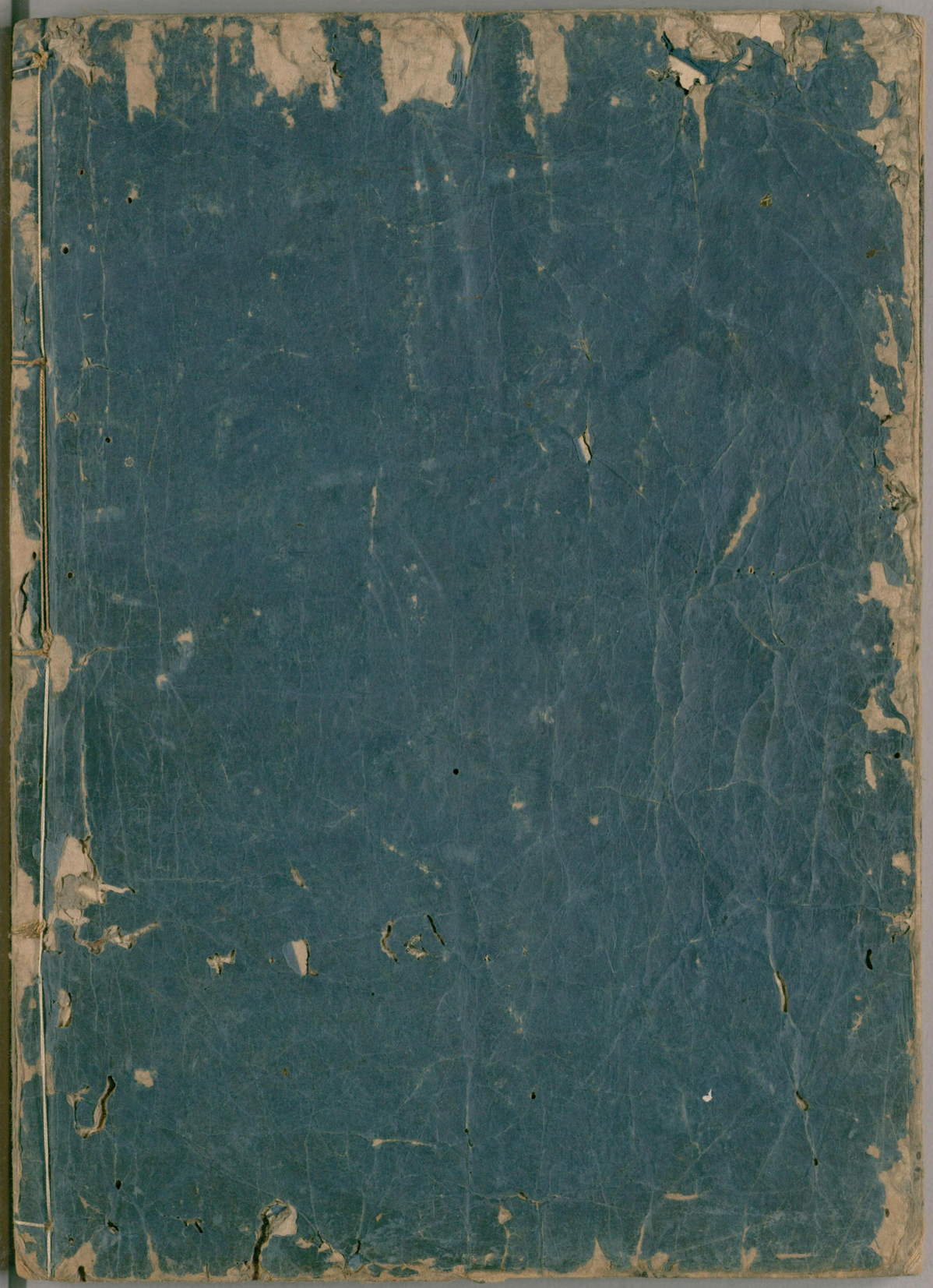
享保十六年八月廿六日終功之時書之爾

同十九年十二月十一日方會大成

壽常

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』 請求記号 857-47

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用